

学校評価は、子どもたちがより良い教育を享受できるようその教育活動等の成果を検証し学校運営の改善と発展を目指すための取組です。保護者や地域からの期待に応えるとともに、より信頼される学校づくりをめざして今年度のアンケート結果を分析し、来年度に向けた課題を明らかにしたいと考えます。

- 調査時期 保護者＝令和4(2022)年12月2日(金)18:00～12月5日(月)7:00  
児童＝令和4年12月6日(火) 教職員＝令和4年11月29日(火)～12月1日(木)7:00
- 調査方法 保護者・教職員＝市学校メールでURLアンケートフォームを添付し、アンケートに回答する。
- 調査人数・・・児童235(回答196)名 保護者171(回答53)名 教職員17名
- 評価点 4＝そう思う 3＝ややそう思う 2＝あまりそう思わない 1＝そう思わない
- 考察・・・4+3を肯定的評価、2+1を否定的評価ととらえる。  
(表内の数字は無回答を抜いた%。各選択肢ごとの四捨五入で合計が100にならないものもある。)

### 1 いじめのない学校づくりについて

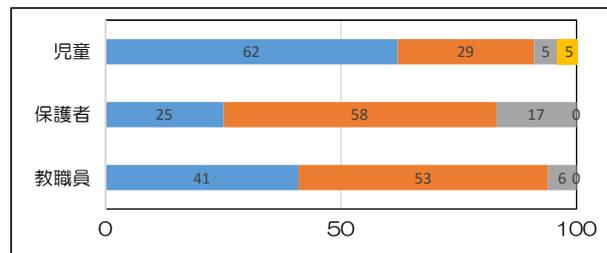
- 児童 1. いじめのない楽しい学校生活を送ることができていますか。
- 保護者 1. いじめのない楽しい学校だと思えますか。
- 教職員 1. 学校は、いじめのない楽しい学級・学校づくりに取り組んでいますか。

		4	3	2	1	4+3
1	児童	62	29	5	5	91
1	保護者	25	58	17	0	83
1	教職員	41	53	6	0	94

回答数	
児童	196
保護者	53
教職員	17

(考察)

児童の肯定的評価が91%と、おおむね良好な数値を示しています。保護者の肯定的評価も83%と、ある程度評価していただけており、昨年度と比較しても肯定的評価が4%上昇しています。  
いじめの実態把握とその根絶は、本校の最重要課題の一つです。本校の教職員は一致団結し、いじめを見逃さない高い意識といじめ根絶に向けた強い決意をもって日々の指導に取り組んでいます。いじめアンケートも年2回の実施と、人権を確かめ合うアンケートの実施事後確認をおこなっています。校内のいじめ防止委員会にて情報共有し、対応を検討、職員共通理解のもと指導を行っています。  
今後も、保護者や児童の回答に見られる否定的な結果を真摯に受け止め、教職員が「いじめを絶対に許さない」という強い意識を常にもちつつ、しんどい思いをしている子に寄り添いながらいじめを見逃さない鋭い人権意識をもつ児童を育てていくことを課題とし、豊かな人間関係を育む人権教育を進めていきます。



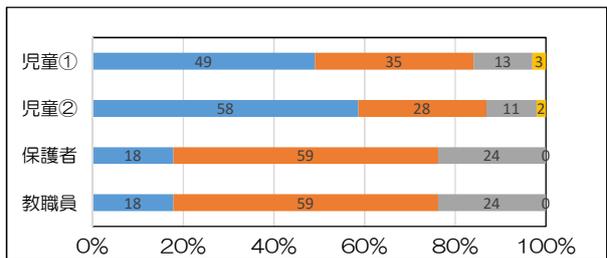
### 2 あいさつについて

- 児童 1. 先生や友達にあいさつをしていますか。①  
2. 家族や地域の方にあいさつをしていますか。②
- 保護者 2. 子どもは、家庭や地域の方に挨拶がよくできていると思えますか。
- 教職員 2. 児童は教職員や友達に挨拶をよくしていると思えますか。

		4	3	2	1	4+3
2	児童①	49	35	13	3	84
2	児童②	58	28	11	2	86
2	保護者	18	59	24	0	77
2	教職員	18	59	24	0	77

(考察)

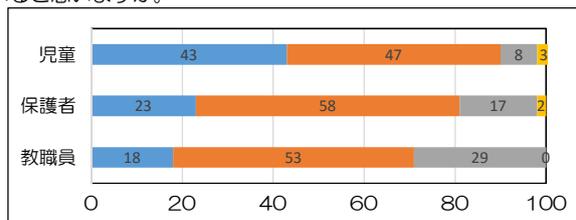
本校では、学校目標として「気持ちのよいあいさつ」の励行を掲げ、教職員が率先して「あいさつ運動」を推し進めてきました。また、以前より本市全体の取組として「あいさつ運動」が推進され、児童の間にもその意識が少しずつ浸透しつつあります。  
今年度のアンケート結果は、保護者について昨年度が68%から77%と、数値の向上が見られます。教職員は、校門や児童昇降口前等での日々の挨拶とともに、教室や様々な場面の気持ちのよい挨拶を意識して「あいさつ運動」に取り組んでいます。さらに数値が向上するよう取組を継続していきます。  
児童の肯定的評価は、いずれも84%以上の数値を示しています。しかしながら、教職員や児童と保護者の評価の間に、大きな乖離が見られます。児童としては、挨拶はしているつもりであっても、元気がなかったり声がかさかたり、あるいは、特定の顔見知りの人物に限られていたり、保護者との意識に大きな温度差が生じていると言えます。  
今後も継続して、保護者の皆さんをはじめ・地域住民とのさらなる連携強化を図り、心の通った「あいさつ運動」を、地域全体で展開していきたいと考えます。



### 3 学校のきまりについて

- 児童 3. 学校のきまりや約束を守って生活することができますか。  
 保護者 3. 子どもたちはきまりや約束を守っていると思いますか。  
 教職員 3. 児童は学校のきまりや約束を守って生活をしていると思いますか。

		4	3	2	1	4+3
3	児童	43	47	8	3	90
3	保護者	23	58	17	2	81
3	教職員	18	53	29	0	71



(考察)

児童、保護者とも肯定的評価が昨年同様に81%を超えているのに対し、教職員の肯定的な数値が、68%から71%と少し上向き傾向となりました。廊下歩行や時間を守る、学校に必要なものは持ってこない、部団登校の仕方、学習中のタブレット使用ツールなど学校での基本的なきまりを守れていない児童もちらほらと見られ児童・保護者との意識に今年度は大きな開きがありました。

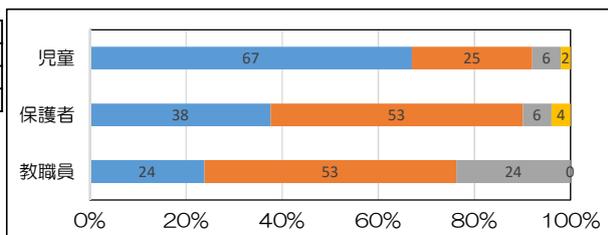
児童に対しては、今後も、わたしたちのきまりをもとに、くり返しきまりを守ることの大切さを指導することや、ルール・約束を守ることが、共に生活しているなかまを大切にすることも深くつながっていることをしっかりと意識させ、児童の規範意識をさらに高めていけるものと考えます。

生徒指導においては、教職員の共通理解と保護者・地域住民の協力のもと意思統一を図りながら、充実した指導をめざしていくことで系統的な指導が可能となり、児童に確かな社会性を育てることにつながります。今後も、教職員が一丸となって児童の規範意識を高めるために率先垂範の姿勢で努力を続けます。

### 4 清掃・美化について

- 児童 4. そうじをがんばっていますか。  
 保護者 4. 学校は、校舎内の美化に積極的に取り組んでいますか。  
 教職員 4. 本校は、校内の環境美化に積極的に取り組んでいますか。

		4	3	2	1	4+3
4	児童	67	25	6	2	92
4	保護者	38	53	6	4	91
4	教職員	24	53	24	0	77



(考察)

全般的に清掃の時間内において、児童は一所懸命に清掃活動を進めています。児童の92%が、保護者においても91%が肯定的評価を示しています。しかし教職員の肯定的評価が77%と、教職員と、児童・保護者との感じ方に差が生じているようです。コロナ禍での清掃は制約も多い中、密を避け間隔を取りながら掃除の指導をし、掃除後の手洗いの指導も繰り返しています。

教職員は、今後も自分たちの学校を美しくすることの意義を児童に説くとともに、率先垂範を心掛け、15分間の掃除活動を児童とともに一所懸命に取り組むことをめざしたいと考えます。さらに、児童には清掃後の振り返りを大切にさせるとともに、清掃活動に対する意識をさらに高め教職員からの指示を待たず自分で考えて行動する力を育てていきたいと思います。

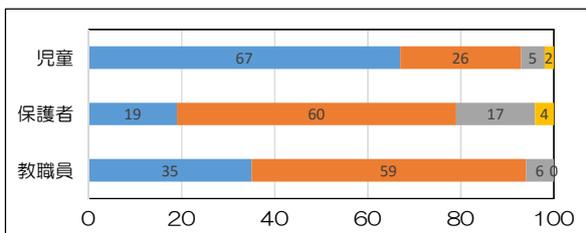
また、学校・地域パートナーシップ事業コーディネーターを中心として、今般のコロナ禍の中においても学校・地域パートナーシップ事業で環境美化活動が多くボランティアによって継続され、常に校内や学校の周りにはいつも美しい花が咲いている環境がつけられています。これらの取組も、肯定的評価につながっていると考えます。

「クリンタイム」に複数学年で学校周辺の清掃活動の取組も継続しています。自分たちの学校が、たくさんの方々のお陰で維持管理されていること、学校の物、みんなの使う物を大切に使い、使った後はきちんと片付けることをこれからも繰り返し話し、指導を進めていきます。

### 5 授業について ①

- 児童 5. 授業はわかりやすいですか。  
 保護者 5. わかりやすい授業が行われている学校だと思いますか。  
 教職員 5. 本校は、わかりやすい授業に努めていますか。

		4	3	2	1	4+3
5	児童	67	26	5	2	93
5	保護者	19	60	17	4	79
5	教職員	35	59	6	0	94



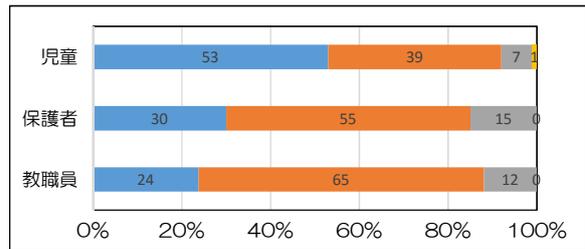
(考察)

児童の肯定的評価が93%と高く、良好と言えます。しかし、保護者の肯定的評価79%のうち、「そう思う」が19%に留まっているため、保護者においても、学校での学力向上に向けた取り組みや努力が、児童のやる気や学力向上の成果として見て取れるよう、教職員が一丸となって授業改善や研修及び、その啓発を行う必要があると考えます。また、学力診断テストの結果を踏まえた学校の取り組みとして、2学期の懇談会で各学年お知らせしているとおり、「書く」力を伸ばすために、学校全体として系統立てて継続した取り組みを続けていきたいと考えます。

## 6 授業について ②

- 児童 6. 授業中、先生の話をよく聞いていますか。  
 保護者 6. 子どもたちは、授業中、先生の話をよく聞いていると思いますか。  
 教職員 6. 児童は授業中、話をよく聞いていますか。

		4	3	2	1	4+3
6	児童	53	39	7	1	92
6	保護者	30	55	15	0	85
6	教職員	24	65	12	0	89



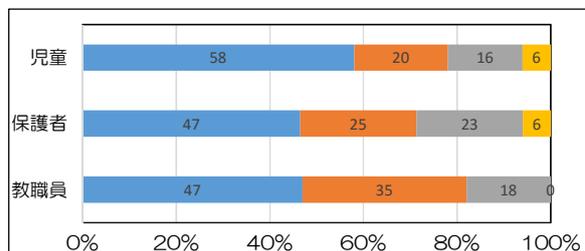
(考察)

肯定的評価については、おおむね良好と言えますが、学校訪問等を通して、学校全体として、学習規律の確立、聞く力や聞く態度のさらなる向上を目指す必要性を感じます。また、児童に比べて保護者・教職員の「そう思う」に開きがあることから、児童は聞いているつもりでも、実際に内容理解できていないことが多くあると感じられますので、国語科を中心に全ての教育活動の中で「聞く力」を育てるために必要な取り組みを進めていきます。

## 7 家庭学習について

- 児童 7. 家庭で宿題やそれ以外の勉強をしていますか。  
 保護者 7. 子ども達は家で宿題やそれ以外の勉強をしていますか。  
 教職員 7. 児童は家庭学習に取り組んでいると思いますか。

		4	3	2	1	4+3
7	児童	58	20	16	6	78
7	保護者	47	25	23	6	72
7	教職員	47	35	18	0	82



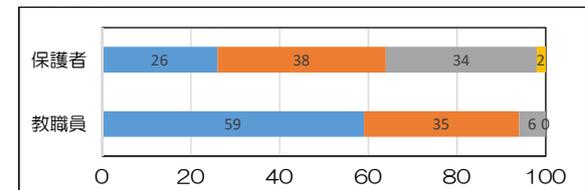
(考察)

家庭学習の定着を目指して取り組んできた成果として、保護者・教職員の肯定的評価が増加傾向にあるといえます。学年に応じた宿題や自主学習の啓発等、少しずつ家庭学習の習慣がつつつつあります。今後とも、家庭学習の重要性について、学校から発信や啓発を行い、児童の意識の向上と、さらなる家庭学習の定着を目指して、取り組んでいきます。

## 8 内容理解について

- 保護者 8. 教職員は、児童が学習理解しているかどうか気を配っていると思いますか。  
 教職員 8. 児童が学習内容を理解しているかどうか気を配っていますか。

		4	3	2	1	4+3
8	保護者	26	38	34	2	64
8	教職員	59	35	6	0	94



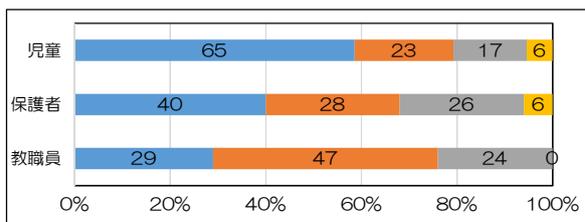
(考察)

保護者と教職員の肯定的評価に開きがあるため、教職員は、より一層児童の理解度の状況を把握し、その学力保証に努めなければなりません。日々、児童に寄り添い、個々の児童へのきめ細やかな指導により、基礎学力の向上を目指すとともに、教職員の意識の向上と、保護者への発信力の向上を目指します。

## 9 体力作りについて

- 児童 8. 学校で外遊びや体育の授業をがんばっていますか。  
 保護者 9. 子ども達は進んで運動や外遊びをしていますか。  
 教職員 9. 学校は体育の授業や外遊びを中心に体力づくりの取組を推進していると思いますか。

		4	3	2	1	4+3
9	児童	65	23	17	6	88
9	保護者	40	28	26	6	68
9	教職員	29	47	24	0	76



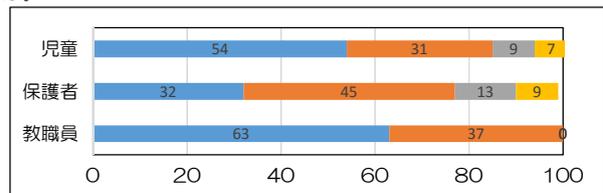
(考察)

コロナ対策は引き続き行いつつも、水泳学習、運動会の全体での実施、マラソン大会、なわとび大会などの行事に向けて練習や取組を行うことができた。児童は88%ががんばられているという肯定的な意見なので、学校で意識して体力向上の取組や体育的行事の充実をすすめていきます。

## 10 教育相談について

- 児童 9. 先生に、相談することができますか。  
 保護者 10. 学校は、児童や保護者からの相談に応じていると思いますか。  
 教職員 10. 本校は児童や保護者からの相談に応じていますか。

		4	3	2	1	4+3
10	児童	54	31	9	7	85
10	保護者	32	45	13	9	77
10	教職員	71	24	6	0	95



(考察)

教育相談についてのアンケートでは、肯定的評価の割合が児童で85%、教職員では95%と良好な数値を示しています。しかし、15%の児童が否定的な回答を寄せていることに関して、引き続き危機意識を教職員全体で共有する必要があると言えます。

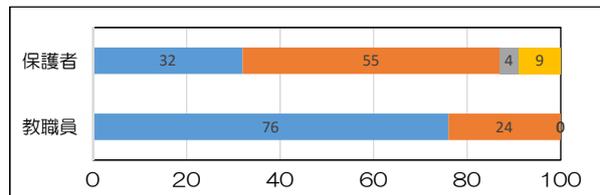
本校の全教職員が「児童や保護者のよき相談相手であるべきだ」という使命感をもって日々の教育活動に臨んでおり、そのことが保護者の評価にも表れています。2割以上の保護者が不安・不満を抱えているのも事実です。また、昨年と同様に児童と教職員との10%の肯定的評価の乖離が見られました。今後もよき相談相手として、また、学校が保護者に安心を担保する存在として、しっかりと寄り添っていかねばなりません。

児童は年齢が上がってくる中で、相談相手として、徐々に「先生」や「保護者」よりも「友達」を優先する傾向が見られます。保護者との連携を密にし、児童や保護者の良き相談相手として、しっかり信頼関係を築けるように日々取り組んでいきます。

## 11 情報提供について

- 保護者 11. 学校は、「学校だより」「学年通信」、ホームページ等を通じて、家庭に学校の情報を積極的に伝えられていると思いますか。  
 教職員 11. 本校は、「学校だより」「学年通信」、ホームページ等を通じて、保護者に学校の情報を積極的に伝えていると思いますか。

		4	3	2	1	4+3
11	保護者	32	55	4	9	87
11	教職員	76	24	0	0	100



(考察)

昨年度に引き続き、積極的に学校での様子をホームページで発信するように努めました。学校からの配付物の確認やホームページへの掲載を希望される保護者の声を受けて、学校からの配付物のコーナーを設定し、公開しました。市教育委員会やPTAからのお知らせも学校メールとホームページで発信をしました。「学校だより」にもホームページで様子を発信していることを紹介したり、QRコードを毎号掲載しています。しかし、保護者の回答に「あまりそうは思わない」「そうは思わない」との否定的な評価が13%もありました。結果を真摯に受け止め、これからも職員でより学校の情報を積極的に発信するように「学校だより」「学年通信」、ホームページ等の活用をすすめていきます。